Treasureland TOHOKU JAPAN 日本東北
東北観光推進機構

旅東北ＮＥＷＳ

VOL.098
2026年11月16日発行
（一社）東北観光推進機構

《巻頭特集》　タイ市場に向けた東北一体のプロモーションを展開

～旅行需要の喚起と東北への誘客拡大を目指して～

タイ市場における東北の認知度向上と旅行需要の拡大を図るため、10/15～10/18に東北観光セミナー・商談会・交流会、航空会社への訪問、訪日旅行フェア「第18回FITフェア」への東北Zone出展を実施しました。東北6県・新潟県・仙台市、観光関連団体、民間企業などが一体となり、旅行会社との商談や一般消費者への観光PRに取組みました。

■ 東北観光セミナー・商談会・交流会（10/15）

タイの観光関係者と東北域内の自治体・DMO・民間企業などが一堂に会し、東北への誘客促進に向けたセミナー・商談会・交流会を開催しました。

セミナーには、タイのインフルエンサー「Outside The Room」のRujさまが登壇。東北への訪問経験が豊富で、自ら旅行ツアーを企画・主催する同氏が、美しい写真を交えながら旅行者の視点で東北の魅力を紹介していただきました。

続く商談会では、日本側20団体がタイの旅行会社29社と計200セッションの商談を実施し、東北各地の観光資源や旅行商品の情報を提供しました。

また、交流会では旅行会社以外の観光関係者も交え、タイと東北双方の関係者が交流を深め、今後の相互交流や観光分野での連携に向けたネットワークの構築を図りました。



【東北観光商談会】



【交流会参加者での集合写真】

■ 航空会社訪問（10/15）

タイから東北へのアクセス拡充と誘客促進を目的に、2つの航空会社を訪問しました。

タイ・エアアジアXには、仙台-バンコク間の直行便の再就航に加え、春季のチャーター便運航を要請し、タイ市場で高まる東北への旅行需要を継続的な誘客につなげるため、路線の再開・拡充に向けた働きかけを行いました。

また、タイ国際航空からは、官民が連携して誘客に取組んでいる点について高い評価をいただく一方、安定的な運航を維持するためには、双方向で継続的に需要を創出することが重要であるとのご意見がありました。

今回の訪問を今後の具体的な取組みにつなげるべく、インバウンド誘客とアウトバウンド需要の双方を意識しながら、官民一体で航空ネットワークの充実に取組んでまいります。



【航空会社訪問】

《巻頭特集》　タイ市場に向けた東北一体のプロモーションを展開

■ 訪日旅行フェア「第18回FITフェア」東北Zone出展（10/16～18）

タイ市場最大規模の訪日旅行フェア「第18回FITフェア」において、東北域内の18団体が20小間の「東北Zone」として出展しました。昨年度の18小間から規模を拡大し、東北全域が一体となって地域の魅力を発信しました。

各ブースではパンフレットなどを活用し、多くの来場者に東北各地の観光情報を紹介しました。東北の観光パンフレット3,000部は配布終了し、インフォメーションカウンターにも多数の来場者が訪れるなど、東北への高い関心がうかがえました。来場者には、すでに東北訪問を予定している方や、複数回訪れているリピーターの方もいらっしゃいました。また、今季は仙台への直行便が運航されない状況にもかかわらず、東京や台湾・香港経由での訪問を検討する方、レンタカーで青森まで周遊する計画を持つ方など、具体的な旅行計画や広域周遊への意欲も確認できました。

さらに、会場では東北絆まつりによるオープニングアクトとして青森ねぶた祭のお囃子と盛岡さんさ踊りを披露しました。東北ならではの祭り文化を通じて、来場者に強い印象を残すことができました。



【オープニングアクト】



【東北Zone出展者での集合写真】



【東北Zoneの様子】

■ 宿泊統計と現地の声から見るタイ市場の動向

2026年1月～7月のタイ人による東北の延べ宿泊者数は約10万7,000人泊となり、前年同期比171%と大きく伸長しました。とりわけ仙台-バンコク間の直行便が運航していた期間には、前年同期比178%を記録しており、航空アクセスが東北への誘客に大きく寄与していたことがうかがえます。

また、今回のFITフェアに出展していた旅行会社へのヒアリングでは、紅葉や冬季の旅行商品が主力となっていることが明らかになりました。紅葉シーズンの商品はすでに満席となり販売できなかったとの声が聞かれたほか、レンタカーに関する問い合わせも多く寄せられています。東京発着の団体ツアーでは移動時間の制約から南東北中心の行程となりやすい一方、レンタカーを利用する個人旅行では青森まで足を延ばす意向も見られました。

今季は仙台への直行便が運航されない状況にあるものの、東京経由や第三国経由での来訪を検討する動きも確認されており、タイから東北への旅行需要は引き続き堅調です。今後は、こうした需要を東北全域への周遊につなげるため、アクセス情報の充実や旅行商品の造成支援を進めてまいります。

10月活動一覧

◆ インバウンド

・10/1　　高雄　東北観光セミナー・商談会の開催
　10/2～5　KTF（冬季）2026　高雄市旅行公会国際旅展

台湾南部の中核都市高雄市において、台湾と東北から各20事業者の参加による「東北観光セミナー・商談会」を開催しました。商談会ではその場で成約に至る案件も生まれるなど、南台湾市場での旅行商品造成に向けた成果が得られました。続く10/2～10/5にかけては、約10.5万人が来場した「KTF（冬季）2026 高雄市旅行公会国際旅展」に出展。春季KTFの出展で得た手応えを踏まえ、インフルエンサーによるステージイベントなどを通じて、東北の魅力や、高雄-仙台直行便の利便性をPRしました。今回、商談会と旅行博を連動させることで、現地旅行業界との関係強化と一般消費者への認知拡大を図ることができました。今後も直行便を活用し、台湾南部からのさらなる誘客につなげてまいります。


【商談会の様子】


【ステージ発表の様子】

・10/13～17　「イーストジャパンゴールデンルート」インフルエンサー招請

北米市場に向けて、東北（仙台市、盛岡市、八戸市、青森市）および函館市の魅力と、東北・北海道新幹線の利便性・快適性を発信することを目的にインフルエンサーを招請しました。

今回の招請では、JR East-South Hokkaido Rail Passを活用し、東北および函館エリアを身近に感じていただくとともに、豊かな自然に恵まれた日本らしい観光や文化を高く評価いただきました。

特に、タゼンあかがね制作、わんこそば、酒蔵見学などの体験に対する評価が高く、東北および函館ならではの歴史や文化に根差したストーリーが、非常に興味深いと評価をいただきました。

今回の招請を通じて、食や観光に加え、東北および函館エリアで育まれてきた独自の歴史や文化を体験できるコンテンツが、北米市場への訴求において非常に有効であることを改めて確認する機会となりました。


【訪問の様子】
※ねぶたの家ワ・ラッセ


【盛岡駅撮影の様子】

・10/27～31　北米旅行会社招請、東北観光セミナー・交流会

北米市場の旅行会社3社3名を招き、宮城県・山形県・福島県・仙台市を巡る4泊5日の招請事業を実施しました。

視察先では、山形県の出羽三山・羽黒山や仙台市の二口渓谷での沢歩き・抹茶体験などが好評で、行程中で最も印象に残った特別なコンテンツとして挙げられました。また、行程4日目にあたる10/30には、仙台市内のホテルにて東北観光セミナーおよび交流会を開催し、東北観光の魅力についてプレゼンテーションを行いました。さらに、北米旅行会社と東北の自治体・観光事業者とのネットワーキングの機会を設け、今後の具体的な送客につながる有意義な交流の場となりました。

今後も北米市場における東北の認知度向上を図るとともに、自然・文化・食など地域ならではの魅力を積極的に発信し、具体的な送客につながるよう、継続的なプロモーションに取組んでまいります。


【大内宿見学の様子】


【羽黒山山伏信仰トレイルの様子】

10月活動一覧

◆ 教育旅行

・10/3～4　東北教育旅行現地研修会

日本修学旅行協会の協力のもと、北海道（道央エリア）の学校関係者を対象とした岩手県への教育旅行現地研修会を開催しました。今回は、えさし藤原の郷や中尊寺での歴史文化学習、三陸鉄道 震災学習列車での震災学習などの教育旅行受入施設を視察し、施設での体験や学習内容、受入体制についての説明を受けました。参加した先生からは、「子供たちが学習する内容を実際に目で見て感じることができることは本物の学びにつながる」との感想をいただきました。

また、宿泊先で開催した教育旅行セミナーでは、岩手県の魅力を学べるさまざまなコンテンツを受入団体から紹介いただき、参加された先生方から高い評価をいただきました。東北での教育旅行の実施拡大に向け、引き続き東北の魅力を発信してまいります。



【視察の様子】
※ワタミオーガニックランド



【教育旅行セミナーの様子】

◆ 広域連泊周遊促進モデルルート形成事業

・10/1（第6回）、10/2（第7回）　地域ワークショップ

10/1（秋田県秋田市）、10/2（青森県弘前市）にて、連泊・周遊を促進するモデルルートの造成に向け、データだけでは把握できない地域の魅力や資源を発掘するために、地域ワークショップを開催いたしました。

はじめに、一般社団法人雪国観光圏代表理事の井口智裕さまにご講演いただき、地域文化を活用した滞在型観光や、自治体の枠組みを超えた広域連携の重要性について理解を深めました。その後のワークショップでは、参加者同士による活発な意見交換が行われ、「地域の宝」の発掘や新たな地域連携の可能性について、多くのアイディアが共有されました。



【第6回 質疑応答の様子】



【第7回 ワークショップの様子】

◆ 東北広域でのガイド育成・マッチング事業

・オンライン研修　第3回（10/6）、第4回（10/8）開催

東北6県および新潟県において広域に活躍する富裕層向けのスルーガイド育成を目的として、オンライン研修の第3回、第4回を開催しました。

第3回は株式会社JAPAN PRIVATE TOUR CEOのアフラ・レイさまとEighty Days株式会社代表 グランジェ七海さまを講師にお迎えし、「選ばれるガイドの条件」をテーマに、発注者側がガイドを選ぶ際のリアルな視点や評価基準などの発注者の目線ならではの本音を学びました。

第4回では全国通訳案内士の根本耀さまと山田恵子さまのお二人を講師にお迎えして、継続的に仕事を獲得する上で重要な「プロガイドのセルフブランディング」をテーマに講義やパネルディスカッションなどを行いました。

次回は、第1回～第4回の研修で学んだことを実践する「実地研修」を11月に実施予定です。



【第3回オンライン研修】



【第4回オンライン研修】

10月活動一覧

◆ アドベンチャートラベル（AT）モデルルート形成促進事業

・ATガイド研修　第4回（10/1）、第5回（10/13）

10/1は盛岡、10/13は仙台にて、ATガイド研修を実施しました。「スルーガイドに求められる基礎スキル」をテーマに、広域なエリアを対象としたガイドを行う際に求められる能力について、座学だけでなくグループワークなどを行いながら理解を深める内容として実施しました。



【ガイド研修の様子】

・10/22～27（第5回）ATファムツアー（南東北・新潟）

南東北・新潟県をエリアとしたATファムツアーを開催しました。アメリカに拠点を置く旅行会社2社を招き、アクティビティや歴史・文化にまつわる観光コンテンツを体験いただきました。

その土地にまつわる歴史や文化のストーリーで紡いだコンテンツは大変好評であり、今後の商流拡大に向けた取組みにつなげてまいります。



【ツアーの様子】

◆ 東北観光DMP

・10/15　第2回東北観光DMP担当者会議

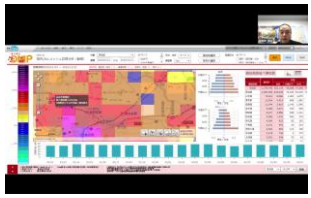
自治体およびDMOなどの担当者にご参加いただき、東北観光DMP担当者会議をオンラインにて開催しました。東北観光DMPを活用した「東北・新潟域内観光動向」に関する分析結果について解説を行い、情報分析手法の共有などを行いました。今後も担当者間の連携を密にし、東北観光DMPを活用したオール東北での観光DXを推進してまいります。



【担当者会議の様子】

・10/21、30　東北観光DMP基本操作研修会

東北観光DMPの基本操作について学ぶ研修を、10/21と30の2日間にわたり開催しました。東北観光DMPの操作初任者を主な対象として、基本的な操作やダッシュボードの読み方について確認を行うとともに、既出の分析資料がどの情報を基に作成されているのかを確認する演習も取り入れました。



【操作研修会の様子】

◆ 会議

・10/22　2026年度　第2回行政観光戦略会議

東北7県・仙台市の観光担当課長の皆さまと「2026年度上期事業報告および下期事業」「2027年度事業計画（案）」「広域連携観光戦略」などについて報告・意見交換を行いました。

意見交換では、「訪日プロモーション」などについて意見が交わされ、オール東北で足並みを揃えて事業に取組んでいきたいとの意見が出されました。



【会議の様子】

・10/23　第21回　東北観光戦略会議

経済団体、企業の実務責任者、東北6県、新潟県および仙台市の観光関連団体などの代表者と、「2026年度上期事業報告および下期事業」「2027年度事業計画（案）」「広域連携観光戦略」などについて報告・意見交換を行いました。

意見交換では、2026年度上期の事業報告に加え、各代表から、ガイド育成や教育旅行などに関する課題をご報告いただきました。



【会議の様子】

10月活動一覧

◆ 人材育成

・10/29～30　第5回フェニックス塾を山形県鶴岡市で開催


【第1部セミナー沢登講師】

東北の観光を担う若手の育成を目的にした「第十一期フェニックス塾」の5回目を、山形県鶴岡市で開催しました。今年度2度目の宿泊を伴う塾です。
〈1日目〉第1部では、立教大学大学院ビジネス研究科兼任講師で前じゃらんリサーチセンター長の沢登次彦さまを講師にお迎えし、「2040年を見据えた観光の未来と地域戦略について」と題したご講演をいただきました。
第2部の塾生ワークショップでは、前回に続き最終提言プレゼンに向けたディスカッションを行うとともに、第3回塾でフィールドワークを実施した「浜通り」の魅力発信というミッションの成果を各班から発表しました。
第3部では、塾生と会長を含む東観推スタッフとの意見交換会を実施し、交流を深めました。
〈2日目〉㈠社)DEGAM鶴岡ツーリズムビューローさまに全面協力をいただき、出羽三山の羽黒山をフィールドワークしました。DEGAMのミヨ サラさまの講話とご案内で出羽三山の歴史的背景や魅力を学び、また国宝五重塔までを散策し出羽三山神社を詣で、斎館にて精進料理を味わいました。東北の大きな魅力の一つである出羽三山の歴史と文化に実際に触れることができ、大変有意義な塾となりました。
次回、第6回塾は盛岡市で開催予定です。


【第2部ワークショップ】


【フィールドワーク斎館】


【フィールドワーク随神門】


【フィールドワーク五重塔】

東観推からのお知らせ

◆ 「フェニックスアワード2026」募集を開始しました！ ◆

東観推では、東北6県および新潟県の観光に従事いただいている事業者の皆さまの取組みを応援し、東北・新潟の観光と地域の発展に寄与することを目的として「フェニックスアワード」の表彰を行っております。
今年も「フェニックスアワード2026」の募集を開始しました！
東北6県および新潟県の観光振興に取り組んでいる企業、団体、個人どなたでもご応募いただけます。
自薦他薦は問いませんので、奮ってご応募ください！応募締め切りは2027/1/9(土)です。
詳細は、東観推ホームページのお知らせ2026.10.26配信のプレスリリース「フェニックスアワード2026」の募集についてをご覧ください。

https://www.tohokukanko.jp/business/index.html

皆さまのご応募をお待ちしております！



東観推からのお知らせ

●以下のHP・SNSなどで情報提供を行っています。

旅東北	**【東北の観光・旅行情報サイト 旅東北】** https://www.tohokukanko.jp/
	【Facebook（Tohoku Tourism）英語版】 https://www.facebook.com/TohokuTourism/?ref=page_internal
	【Facebook（Tohoku for Muslims）ムスリム版】 https://www.facebook.com/EnjoyTohokuFood/posts/
	【Facebook（日本東北旅遊）香港・台湾版】 https://www.facebook.com/tohokutourism.tw/
	【Facebook（旅東北 東北観光推進機構）日本語版】 https://www.facebook.com/tohokukanko
	【Facebook（Go Tohoku Thailand ）タイ語版】 https://www.facebook.com/tohokufuntrip
	【Instagram（Tohoku Tourism_Japan）英語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_japan/
	【Instagram（東北旅遊）香港・台湾版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_tc/?hl=ja
	【Instagram（【公式】東北観光推進機構）日本語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_jp/
	【Weibo（日本東北玩楽GO）】 https://weibo.com/lvdongbei
小红书	**【RED（日本东北观光）】** https://xhslink.com/m/60Jj6UTE74u



【遠野ふるさと村（岩手県）】



【名峰・霊山トレッキング（福島県）】



【瑞鳳殿（宮城県）】

2026年5月から始めました！

◆Instagramにおける「#東北PR局」を付けた投稿のお願い◆

東北の観光に関係する投稿の際には、ぜひ「#東北PR局」をつけてご投稿ください。「#東北PR局」をつけていただいた投稿の中から、素敵な投稿はリポストさせていただきます。（リポストの際は、事前に承諾をとらせていただきます）

リポストは東観推のInstagramとFacebook（旅東北 東北観光推進機構）の両方で投稿します。

【発行】（一社）東北観光推進機構
仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階　【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp
【TEL】022-721-1291【FAX】022-721-1293

Treasureland TOHOKU JAPAN 日本東北 東北観光推進機構